

## 令和4年度第2回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和4年5月24日（火）15:30～16:50 評議会室

出席者：廣川理事長、宮川副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事、上原理事、  
山本監事、元永監事

欠席者：林理事

事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、  
川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、  
出口高等専門学校開設準備室長、前田課長補佐、藤居主幹

令和4年度第1回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は、原案どおり承認された。

### 議 題

#### （審議事項）

##### 1 認証評価受審にかかる点検評価ポートフォリオ（案）について

寺村経営企画課長から、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・今回で3回目となる受審で、それぞれ認証評価機関が変わっているのは何故か。  
→ 過去に受審した認証評価機関には必ずしも公立大学の実情にあった審査がなされないこともあったため、より公立大学に適応している認証機関に変更している。

##### 2 「公立大学法人滋賀県立大学研究活動上の不正行為防止計画」の改正について

山中地域連携・研究支援課長から、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・どのような理由で改正されることになったのか。  
→ 今年度が3年に1度の点検・評価の時期に当たっていることと、文部科学省のガイドラインの改正に対応する必要性が生じたことによる。

#### （報告事項）

##### 1 実習調査船における学生の負傷事故について

八里事務局次長から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・乗船のための規則が守られていなかったとは、具体的にどういうことか。  
→ 学生はキャプスタンに近づかないというルールが守られず、周知もされていなかった。
- ・事故に至らないまでも、ヒヤリハットに相当することはこれまでなかったか。  
→ アンカーを使って観測機器を引き上げようとしたのは今回が初めてであり、実習調査船において、これまで危険なことはなかった。再発防止のため、今後、ヒヤリハットを把握し、その原因を潰していくこととしている。